

2016/2017シーズン ワールドカップ結果報告 ～第6戦SL(回転)で今シーズン初優勝～

第1～3戦: 12月15日～17日 オーストリア

第4～7戦: 12月19日～22日 スイス

今シーズン初のワールドカップがオーストリアで行われました。初戦と第2戦では思うように身体が動かず、また天然の雪ではなく人工雪であったため雪質に対応することができず、残念なスタートとなりました。

第3戦では大会の雰囲気や雪質などにも慣れ、昨シーズン一度も表彰台にあがることができなかったGS(大回転)で3位という結果を残す事ができ、自信に繋がりました。ただ1本目で1位につけておきながら2本目で守りに入ってしまう順位を落としてしまった事は悔いが残ります…。

続いて、ワールドカップ第4戦から7戦がスイスで行われ、種目はGS(大回転)×2戦、SL(回転)×2戦の4種目。

天候は4日間安定していましたが、12月ということもあり雪質が大変柔らかく、チェアスキー男子のクラスがスタートするころ(約60人滑走後)はインスペクション(下見)をした時とは違い、荒れたバーンになっていて苦戦する選手が続出しました。そんなバーンコンディションが悪い中でも、第4戦のGS(大回転)で5位、第6戦のSL(回転)で**優勝**することができました。

正直、こんなに早く優勝できるとは思っていませんでした(去年は最終戦でやっと優勝)。しかし、優勝したからといって安心していただけず、今シーズンは若いオランダの選手の勢いがあり、得意のSL(回転)では正直負けていました。優勝した第6戦はゲート(ポール)のセットが難しく、そこが経験の差で勝てたのではないかと思います。第7戦のSL(回転)では1本目で2位につけて1位のオランダの選手を追いかけましたが、残念ながら途中でアウトリガー(両手に持っているストックの先に小さいスキーが付いたもの)が滑走モードから移動モードになってしまい、それが原因で腕を引っ掛けてしまい、DNF(棄権)となってしまいました。これは用具のせいではなく、私の持ち方に問題があったのだと思っています。

次のレースでは、このような事がないよう持ち方などを変えて同じ失敗をしないよう気をつけたいと思います。

正直悔しい終わり方で年を超える事になってしまいましたが、この悔しさをバネに帰国後も雪上で練習をし、来年1月に開催される世界選手権では若いオランダの選手に経験と大人の力を見せつけ、皆様に良い報告が出来ればと思います。



第6戦のSL(回転)で優勝！

KYB株式会社 広報部

鈴木 猛史(チェアスキーヤー)

ワールドカップ第1戦～7戦結果

第1戦: SL(回転)8位

第2戦: GS(大回転)7位

第3戦: GS(大回転)3位

第4戦: GS(大回転)5位

第5戦: GS(大回転)10位

第6戦: SL(回転)1位

第7戦: SL(回転)途中棄権

以上